

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月26日

計画の名称	名古屋港の物流機能の維持・強化、快適な港湾空間の形成（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）									重点配分対象の該当			
交付対象	名古屋港管理組合												
計画の目標	既存ストックの改修・改良により、物流機能の維持・強化を図る。 人々が憩い、快適・安全に過ごすことの出来る港湾空間の形成を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,108	A	3,099	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.28	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設数を計画期間中0件（H31まで）とする。 【港湾施設】老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設数（件）	0件	0件	0件
2	中川運河地区における堀止緑地の認知度を0%（H27）から70%（H31）とする。 【緑地】中川運河地区における堀止緑地の認知度を把握 （堀止緑地の認知度）=（アンケート内の堀止緑地認知数）/（イベント時のアンケート集計数）（%）	0%	35%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
愛知県地域強靱化計画及び名古屋市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A全て												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-1 飛鳥ふ頭道路改良	延長L=2.7km	名古屋港 飛鳥 ふ頭						277		策定済
	A02-002	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	建設	1-A-2 緑地整備	面積S=1.1ha	名古屋港 中川 運河地区						1,170		策定済
	A02-003	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-4 臨港道路(橋梁) 改良	橋長L=100m	名古屋港 弥富 ふ頭						0		策定済
A02-004	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-5 岸壁改良(全面電 気防食、防舷材取替等)	水深D=-10~-12m、延長L=990 m	名古屋港 飛鳥 ふ頭						217		策定済	
A02-005	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-6 岸壁改良(全面電 気防食、防舷材取替等)	水深D=-5.5~-10.5m、延長L= 3080m	名古屋港 金城 ふ頭						141		策定済	
A02-006	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-13 運河改良(張出 補強)	施行延長 L=115m	名古屋港中川運 河(東海橋~昭 和橋)(1)						0		策定済	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-14 運河改良(張出 補強)	施行延長 L=115m	名古屋港中川運 河(東海橋~昭 和橋)(2)						0	策定済	
	A02-008	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-15 運河改良(張出 補強)	施行延長 L=130m	名古屋港中川運 河(長良橋~運 河橋)(1)						371	策定済	
	A02-009	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-18 岸壁改良(全面 電気防食、鋼矢板補修)	水深D=-4.5m、延長L=240m	名古屋港 北浜 ふ頭						5	策定済	
	A02-010	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-20 臨港道路(橋梁)改良	橋長L=861m	名古屋港 稲永 ふ頭						0	策定済	
	A02-011	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-21 臨港道路(橋梁)改良	橋長L=581m	名古屋港 稲永 ふ頭						0	策定済	
	A02-012	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-7 岸壁改良(全面電 気防食、防舷材取替等)	水深D=-3.5~-7.5m、延長L=4 63m	名古屋港 大手 ふ頭						23	策定済	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-013	港湾	一般	名古屋港管理組合	直接	名古屋港管理組合	拠点	改良	1-A-8 岸壁改良(全面電気防食、防舷材取替等)	水深D=-5.5m、延長L=991m	名古屋港 船見ふ頭						65		策定済	
	A02-014	港湾	一般	名古屋港管理組合	直接	名古屋港管理組合	拠点	改良	1-A-11 岸壁改良(全面電気防食、防舷材取替等)	水深D=-5.5~-10m、延長L=1080m	名古屋港 空見ふ頭							0		策定済
	A02-015	港湾	一般	名古屋港管理組合	直接	名古屋港管理組合	拠点	改良	1-A-12 耐震強化岸壁改良	水深D=-10m、延長L=185m	名古屋港 潮風ふ頭							308		策定済
	A02-016	港湾	一般	名古屋港管理組合	直接	名古屋港管理組合	拠点	改良	1-A-16 運河改良(張出補強)	施行延長 L=150m	名古屋港中川運河(長良橋~運河橋)(2)							434		策定済
	A02-017	港湾	一般	名古屋港管理組合	直接	名古屋港管理組合	拠点	改良	1-A-19 臨港道路(橋梁)改良	橋長 L=136m	名古屋港 鍋田ふ頭							88		策定済
												小計						3,099		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						3,099		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
公正な評価に向け、幅広い見地から意見を得るため、令和3年1月14日に学識経験者で構成する「名古屋港管理組合公共事業評価委員会」を開催し、事後評価を取りまとめた。	令和2年度
	公表の方法
	名古屋港のホームページにおいて、事後評価を公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【港湾施設】 厳しい財政状況の中、最大の事業効果が発現できるよう緊急性の高い施設を優先的に改良し、計画期間中の安全な施設利用を維持することができた。また、改良した施設については、物流機能の維持・強化ができた。</p> <p>【緑地】 掘止緑地の一部供用により、水辺空間が形成された。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>【港湾施設】 本計画で未実施となった施設については、物流機能の維持・強化を図るため次期整備に位置づけ、整備に必要な予算の確保に努め早期整備完了を目指す。また、中川運河の護岸改良については、令和2年度から補助事業に移行したことから、民間開発と併せ整備の促進を図っていく。</p> <p>【緑地】 周辺開発と連携した水辺空間の形成を図るとともに、効果的な広報を行っていく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設数（H31まで）	
	最終目標値	0件
	最終実績値	0件
2	中川運河地区における堀止緑地の認知度	
	最終目標値	70%
	最終実績値	22%

(図面) 社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

